

Yokohama Choral Society

横浜合唱協会

合唱ワークショップ(公開レッスン)

さあ、みんなで歌いましょう!

レーガー・モテットの魅力

バッハ、メンデルスゾーン、シューマンの伝統を受け継ぐのを使命とし
「第2のバッハ」と言われたレーガーのモテットの魅力を味わいましょう

2019年5月18日(土)『横浜合唱協会第69回定期演奏会』で演奏するレーガー・モテットop138を
取り上げ、その魅力を一緒に楽しもうと企画致しました。ぜひ気軽にいらしてみてください。いっしょに歌って楽しみま
しょう! 団員一同、ご来場をお待ちしています。(貸出楽譜は当方で用意いたします。)

合唱指導: 柳 嶋 耕 太

第3回:レーガー・モテットop138

日時: 2018年9月22日(土)18:00~21:00

会場: 南公会堂(市営地下鉄「阪東橋」徒歩8分 京浜急行「黄金町」徒歩14分)

練習曲: Nachtlied/夜の歌 op.138-3

Unser lieben Frauen Traum/聖母マリアの夢 op.138-4

◆どうしてドイツではレーガーが好まれればば演奏されるのでしょうか?

横浜合唱協会がドイツ演奏旅行した際、ドイツの演奏家から良く聞かれたのが「どうして日
本ではレーガーがあまり演奏されないのか」との質問、また、トーマスカントール・ピラーさん
曰く「バッハの次に好きなのはレーガーだ」との表明。ワークショップでは「なるほど、これがド
イツで好まれるレーガーの魅力なんだ」と実感していただきたいです。



第4回:レーガー・モテットop138

日時: 2018年10月13日(土)18:00~21:00

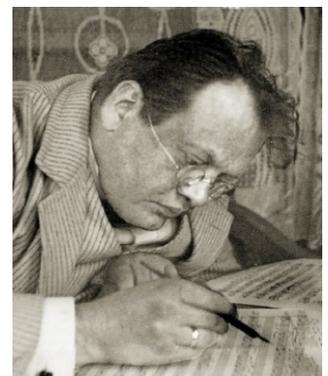
会場: かなっくホール(JR 東神奈川駅から/京浜急行 仲木戸駅から 連絡橋「かなっくウォーク」徒歩1分)

練習曲: Der Mensch lebt und bestehet/人が生きる時は短く op.138-1

Das Agnus Dei/アニュス・デイ op.138-6

◆レーガーの合唱曲で最も良く演奏されている”モテットop138”の魅力とは?

第一次世界大戦が始まった1914年春大病を患ったレーガーは、歌詞に「千年にわたる宗
教詩による“ドイツ詩篇”」を選び、8つの宗教合唱曲集op.138として仕上げました。その校
正版を携えライプツィヒへの旅に出たレーガーは、1916年5月11日ライプツィヒのホテル
で亡くなりました。その時機の上には本日の練習曲「人が生きる時は短く、その存在ははか
なきもの」のページが開かれていました。「死」や「永遠」というテーマに自身の思考と感性が
向けられていたレーガーの大変象徴的な曲を取り上げます。



お問合せ・参加申し込み: Tel&Fax: 045-894-3031 (ふじい)

E-mail: fujii-yo@ba2.so-net.ne.jp

申し込みせずご来場いただいても構いませんが、楽譜・資料の準備上事前申し込み頂ければ幸いです。

主催: 横浜合唱協会 <http://www.ycs.gr.jp/>

練習会場詳細は左記のホームページをご覧ください。